

リニア中央新幹線に係る「平成 28 年度における環境調査等の結果について」 の概要

1. 関連する事後調査計画書等の提出状況

- H26. 8 環境影響評価書公告
- H26.11 事後調査計画書提出
- H26.12 「大鹿村における水資源に係る具体的な調査の計画について」提出
- H28. 4 「豊丘村・喬木村における水資源に係る具体的な調査の計画について」提出
- H28. 9 「大鹿村内発生土仮置き場における環境の調査及び影響検討の結果について」提出
- H28.10 「南木曾町における水資源に係る具体的な調査の計画について」提出
- H29. 2 「豊丘村内発生土置き場（本山）における環境の調査及び影響検討の結果について」提出

2. 報告書の概要

(1) 事業の実施状況 (P1-1-1、1-2-1)

- ・ 大鹿村では、小渋川非常口、除山非常口及び釜沢非常口で、ヤード整備等を実施。
- ・ 豊丘村、喬木村、飯田市、阿智村及び南木曾町では、測量作業や、計画の進捗状況及び工事の説明会等を実施した。

(2) 事後調査

➤ 水資源（地下水の水位及び湧水の水量、地表水の流量調査）（P2-1-1～61）

【調査地点】

（大鹿村）地下水の水位及び湧水の水量：12 地点、地表水の流量：24 地点

（豊丘村）地下水の水位及び湧水の水量：4 地点、地表水の流量：7 地点

（南木曾町）地下水の水位及び湧水の水量：4 地点、地表水の流量：7 地点

➤ 動物（希少猛禽類の生息状況調査）（P2-2-1、2）

- ・ 評価書において事後調査の対象とした大鹿村に生息するノスリ、クマタカについて、平成 27 年 12 月～平成 28 年 8 月に定点観察、営巣地調査を実施した。
- ・ ノスリの営巣地は工事施工ヤード近傍で確認されたが、5 月に落巣を確認したことから、繁殖に失敗したと考えられる（調査は工事着手前）。
- ・ クマタカの営巣地は平成 26 年に確認された営巣木と同じ箇所の営巣木で、工事施工ヤードから距離があり、かつ尾根を挟んだ反対側である。繁殖の成功が確認された。

➤ 植物（重要な種の移植・播種後の生育状況調査）（P2-3-1～4）

- ・ 豊丘村で確認されたヒナスゲ、カキツバタ、及び大鹿村で確認されたアゼナルコ、トダイアカバナ、ウリカワについて、平成 28 年 4 月～9 月に移植・播種後の生育状況調査を実施した。
- ・ 移植した全ての種において、開花及び結実が確認された。また、播種を実施したトダイアカバナは発芽が確認された。

➤ その他（大鹿村発生土仮置き場及び豊丘村発生土置き場における事後調査）（P2-4-1、2）

- ・ 動物について、(2)で記載したとおり。
- ・ 植物について、豊丘村で確認されたフトボナギナタコウジュ及びセンブリの播種を平成 28 年 11 月に実施した。平成 29 年の春に生育状況の調査を実施する予定。

(3) モニタリング

➤ 水質（公共用水域（河川）の自然由来の重金属等の水質調査）（P3-1-1～7）

【調査地点】

(大鹿村) 天竜川水系の小河内沢川 1 箇所、小渋川 2 箇所
(飯田市) 天竜川水系の松洞川 1 箇所

- ・ 全ての地点で環境基準を下回った。

➤ 水資源（井戸・湧水の水位又は水量、地表水の流量、及び自然由来の重金属等の水質調査）（P3-2-1～88）

【調査地点】

(大鹿村) 地下水の水位及び湧水の水量：12 地点
自然由来の重金属等：3 地点
(豊丘村) 地下水の水位及び湧水の水量：4 地点、地表水の流量：22 地点
自然由来の重金属等：3 地点
(南木曽町) 地下水の水位及び湧水の水量：6 地点、地表水の流量：46 地点

- ・ 全ての調査地点で自然由来の重金属等の環境基準を下回った。

➤ 動物（ミゾゴイの生息調査）（P3-3-1、2）

- ・ 改変の可能性のある範囲から相当離れた箇所で見つかりが 1 例確認された。

(4) 環境保全措置の実施状況（P4-1-1～4-3-1）

- ・ 大気質、騒音、振動等について、建設機械や工事用車両等に係る環境保全措置を実施した。
- ・ 猛禽類等に対するコンディショニングについて、既知の営巣地からできるだけ遠い箇所から工事を実施するとともに、削岩作業については、稼働時間を段階的に長くした。対象ペアの警戒行動は確認されていない。
- ・ オオタカ、ノスリ、クマタカ及びハイタカに対する代替巣の状況について、設置後、利用は確認されていない。
- ・ 大鹿村においてウリカワの移植を 7 月に、豊丘村においてフトボナギナタコウジュ及びセンブリの播種を 11 月に実施した。

(5) その他特に実施した調査（P5-1-1～5-3-2）

➤ 希少猛禽類の継続調査

- ・ オオタカ、ノスリ及びクマタカの 2. (2) 以外のペアについて、生息調査を実施した。
- ・ ノスリ（大鹿村 B ペア）については、繁殖に失敗した可能性があり、クマタカ（大鹿村 B ペア）は繁殖が確認されていない。その他のペアは繁殖の成功が確認された。

➤ 山岳トンネル上部における沢周辺の動植物調査について

- ・ 山岳トンネル上部の主要な河川・沢周辺及び南アルプスの源流部周辺において、トンネル内に地下水が流入する可能性のある範囲で調査を実施した。
- ・ 複数の重要種が確認されたことから、工事中に重要種が生息する箇所で減水の傾向が認められ、影響の可能性が考えられる場合はモニタリングを行うとともに、重要種への影響が確認された場合は、移植措置などを実施する予定。